

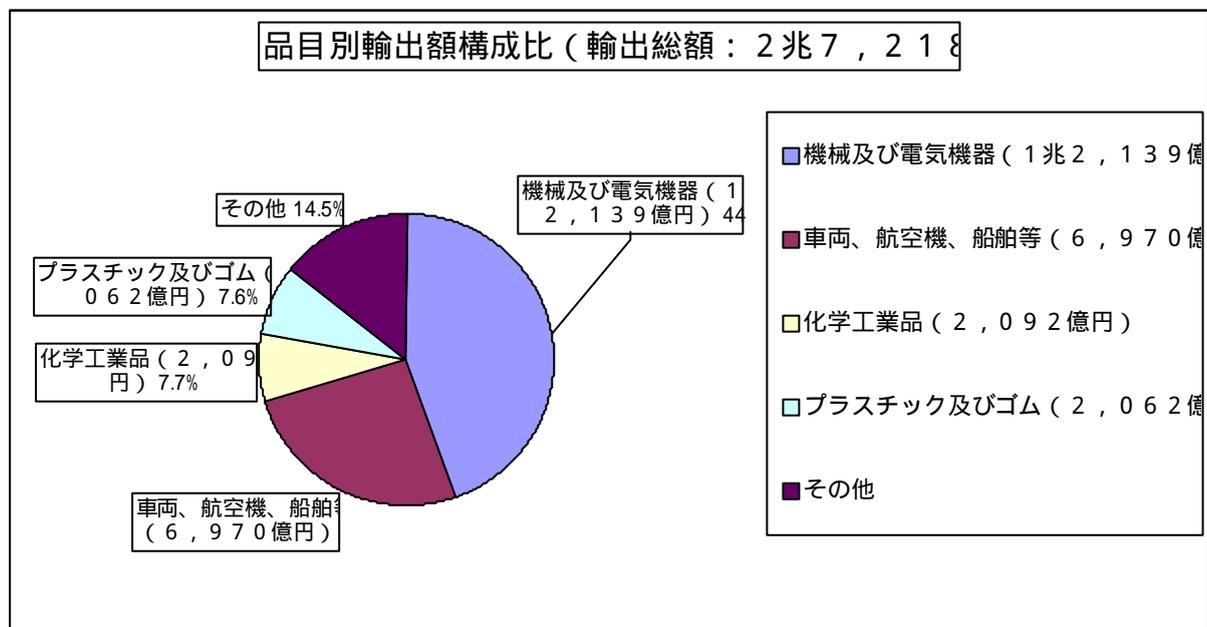
福岡県の輸出概況

(1) 概況

門司及び長崎税関資料に基づき、平成15年の福岡県内の港（門司、苅田、戸畑、博多、三池）及び福岡空港における輸出状況を見ると、次のとおりである。平成15年の本県の輸出総額は、2兆7,218億48百万円、前年比5.6%増で、前年に引き続きプラスとなった。

(2) 品目別輸出動向

品目別構成で見ると、「機械類及び電気機器」（1兆2,139億円）が最も多く輸出全体の44.6%を占めている。次いで、「車両、航空機、船舶等」が25.6%（6,970億円）、「化学工業の生産品」が7.7%（2,092億円）、「プラスチック及びゴム」が7.6%（2,062億円）と続いている。



(3) 港別輸出動向

港別の輸出額は、博多港が7,763億43百万円（前年比42.9%増）、門司港が4,202億14百万円（前年比25.8%増）、福岡空港が7,197億19百万円（前年比22.7%減）、戸畑港が1,895億21百万円（前年比6.7%増）、苅田港が5,034億55百万円（前年比8.7%増）、三池港が1,125億93百万円（前年比12.0%減）の順であった。

港別の特徴で見ると、門司港は「一般機械」、苅田港は「自動車」、戸畑港は「鉄鋼」、博多港は「映像機器」、福岡空港は「半導体電子部品」、三池港は「船舶類」の輸出ウエイトが高い。

(4) 地域別輸出動向

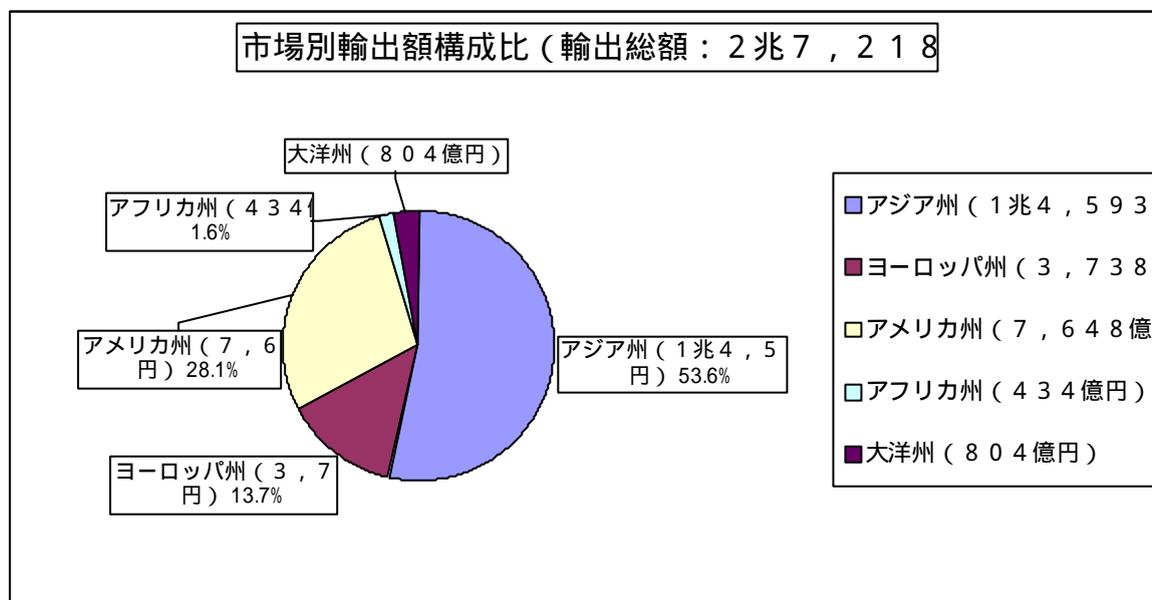
輸出先別で見ると、アジア州への輸出が最も多く 1兆4,593億円で、全体に占める割合は53.6%となった。主な相手先は、大韓民国(2,600億円、同9.6%)、台湾(2,267億円、同8.3%)、中華人民共和国(2,395億円、同8.8%)、香港(1,492億円、同5.5%)、シンガポール(1,137億円、同4.2%)の順となった。

ヨーロッパ州への輸出は3,738億円となり、全体に占める割合は13.7%となった。主な相手先はドイツ(1,018億円、同3.7%)、イギリス(546億円、同2.0%)、オランダ(421億円、同1.6%)、フランス(405億円、同1.5%)の順となった。

アメリカ州への輸出は7,648億円となり、全体に占める割合は28.1%となった。主な相手先は、アメリカ(5,947億円、同21.8%)である。

アフリカ州への輸出は434億円となり、全体に占める割合は1.6%となった。

大洋州への輸出は804億円となり、全体に占める割合は3.0%となった。主な相手先はオーストラリア(708億円、同2.6%)である。



福岡県内港上位輸出国（地域）順位

金額単位：百万円

順位	2001年		2002年		2003年		
	国（地域）名	輸出額	国（地域）名	輸出額	国（地域）名	輸出額	構成比（%）
1	アメリカ	564,957	アメリカ	608,849	アメリカ	594,745	21.8
2	大韓民国	236,763	大韓民国	262,754	大韓民国	260,069	9.6
3	台湾	186,217	台湾	207,718	中華人民共和国	239,558	8.8
4	中華人民共和国	141,628	中華人民共和国	171,058	台湾	226,799	8.3
5	シンガポール	128,623	香港	133,960	香港	149,256	5.5
6	香港	104,288	シンガポール	126,518	タイ	115,295	4.2
7	タイ	98,211	タイ	123,416	シンガポール	113,764	4.2
8	フィリピン	79,999	フィリピン	89,834	フィリピン	103,602	3.8
9	マレーシア	61,804	ドイツ	76,987	ドイツ	101,866	3.7
10	ドイツ	56,965	マレーシア	72,569	マレーシア	83,617	3.1
11	インドネシア	45,990	オーストラリア	52,170	オーストラリア	70,837	2.6
12	イギリス	45,422	イギリス	48,755	イギリス	54,632	2.0
13	オーストラリア	42,886	カナダ	48,701	カナダ	46,401	1.7
14	オランダ	42,023	オランダ	44,932	メキシコ	44,504	1.6
15	フランス	35,792	インドネシア	43,444	オランダ	42,164	1.6
	上記以外	361,194	上記以外	466,164	上記以外	474,739	17.5
	合計	2,232,762	合計	2,577,829	合計	2,721,848	100.0

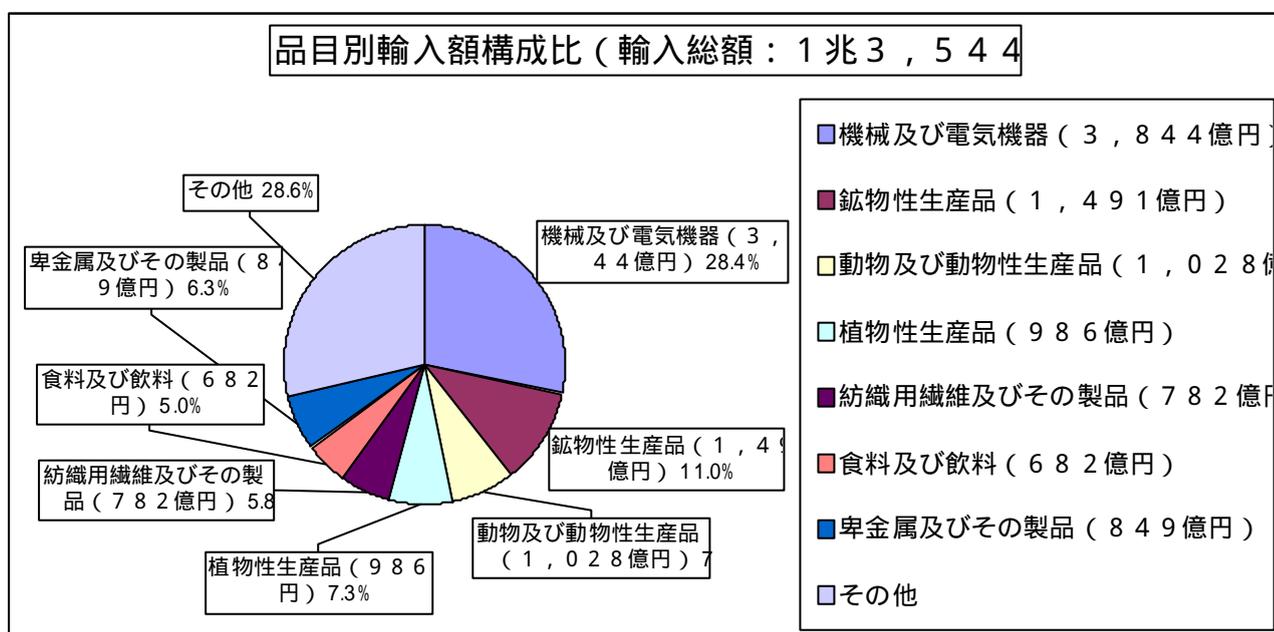
福岡県の輸入概況

(1) 概況

門司及び長崎税関資料に基づき、平成15年の福岡県内の港（門司、苅田、戸畑、博多、三池）及び福岡空港における輸入状況をみると、次のとおりである。平成15年の本県の輸入総額は、1兆3,544億74百万円、前年比1.4%増で、5年連続のプラスとなった。

(2) 品目別輸入動向

品目別構成で見ると、「機械類及び電気機器」(3,844億円)が最も多く輸入全体の28.4%を占めている。次いで、「鉱物性生産品」が11.0%(1,491億円)、「動物及び動物性生産品」が7.6%(1,028億円)、「植物性生産品」が7.3%(986億円)と続いている。



(3) 港別輸入動向

港別の輸入額は、博多港が5,010億66百万円（前年比0.3%減）、門司港が3,905億07百万円（前年比2.8%増）、福岡空港が2,861億79百万円（前年比1.2%増）、戸畑港が1,329億61百万円（前年比9.5%増）、三池港が376億12百万円（前年比11.8%減）、苅田港が61億47百万円（前年比13.1%減）の順であった。

港別の特徴で見ると、門司港は「電気機器及び衣類」、苅田港は「石炭」、戸畑港は「液化天然ガス」、博多港は「魚介類及び同調製品」、福岡空港は「半導体電子部品」、三池港は「はき物」の輸入ウエイトが高い。

(4) 地域別輸入動向

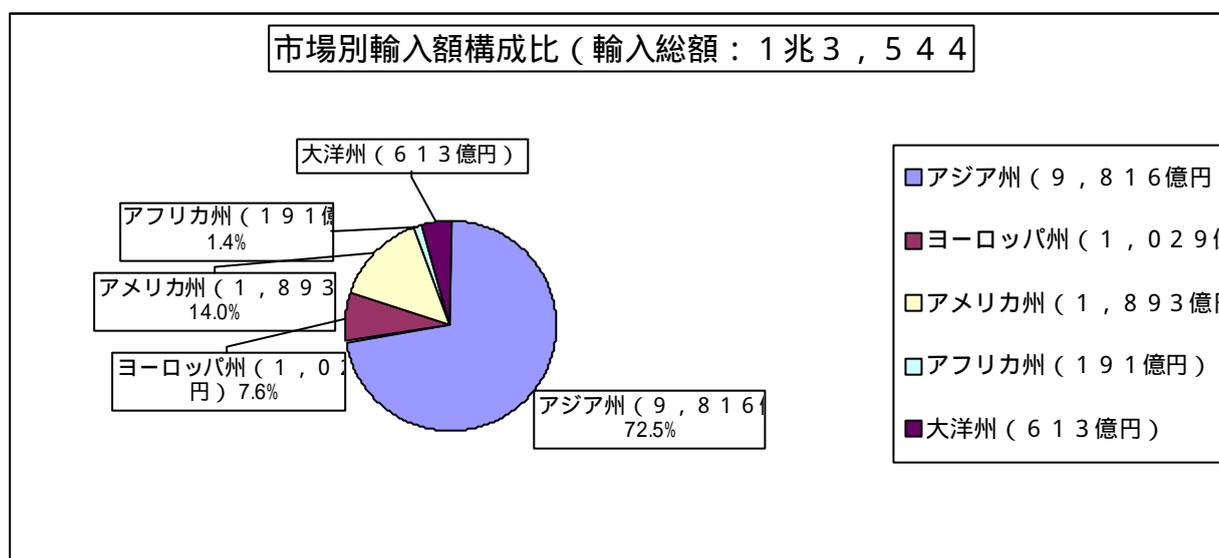
輸入先別でみると、アジア州からの輸入は最も多く 9,816 億円で、全体に占める割合は72.5%となった。主な相手先は、中華人民共和国(3,856億円、同28.5%)、大韓民国(1,681億円、同12.4%)、タイ(1,084億円、同8.0%)、インドネシア(1,010億円、同7.5%)、台湾(706億円、同5.2%)、フィリピン(505億円、同3.7%)の順となった。

ヨーロッパ州からの輸入は、1,029億円となり、全体に占める割合は7.6%となった。主な相手先は、ロシア(220億円、同1.6%)、ドイツ(182億円、同1.4%)である。

アメリカ州からの輸入は、1,893億円となり、全体に占める割合は14.0%となった。主な相手先は、アメリカ(1,383億円、同10.2%)、カナダ(230億円、同1.7%)である。

アフリカ州からの輸入は、191億円となり、全体に占める割合は1.4%となった。

大洋州からの輸入は、613億円となり、全体に占める割合は4.5%となった。主な相手先はオーストラリア(555億円、同4.1%)である。



福岡県内港上位輸入国（地域）順位表

金額単位：百万円

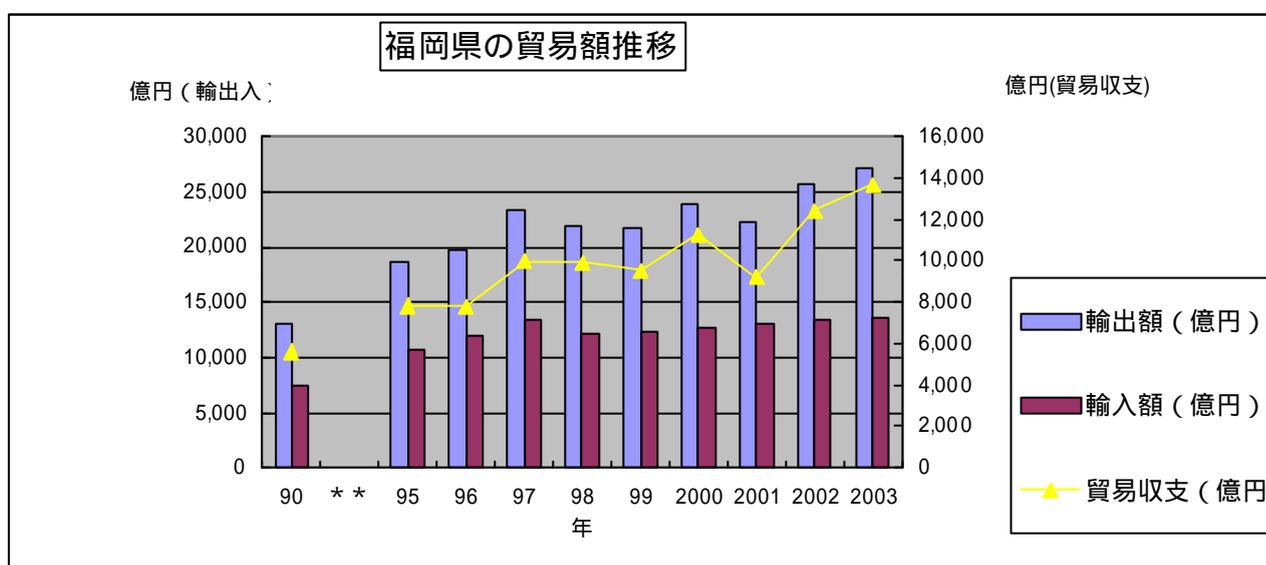
順位	2001年		2002年		2003年		
	国(地域)名	輸入額	国(地域)名	輸入額	国(地域)名	輸入額	構成比(%)
1	中華人民共和国	337,154	中華人民共和国	355,582	中華人民共和国	385,678	28.5
2	大韓民国	196,963	大韓民国	180,172	大韓民国	168,120	12.4
3	アメリカ	163,132	アメリカ	151,413	アメリカ	138,395	10.2
4	インドネシア	103,394	インドネシア	99,109	タイ	108,400	8.0
5	タイ	71,984	タイ	95,201	インドネシア	101,055	7.5
6	台湾	64,161	台湾	68,714	台湾	70,632	5.2
7	オーストラリア	57,534	フィリピン	56,939	オーストラリア	55,540	4.1
8	マレーシア	51,683	マレーシア	53,110	フィリピン	50,530	3.7
9	フィリピン	42,462	オーストラリア	49,648	マレーシア	49,379	3.6
10	カナダ	25,444	カナダ	22,325	カナダ	23,068	1.7
11	ロシア	24,221	ロシア	21,082	ロシア	22,044	1.6
12	ドイツ	16,059	ドイツ	20,812	ドイツ	18,246	1.4
13	インド	11,210	ヴェトナム	11,747	ヴェトナム	13,949	1.0
14	シンガポール	10,199	インド	11,559	ブラジル	11,942	0.9
15	ヴェトナム	9,774	ブラジル	10,888	シンガポール	11,850	0.9
	上記以外	127,575	上記以外	128,109	上記以外	125,646	9.3
	合計	1,312,949	合計	1,336,410	合計	1,354,474	100.0

福岡県の貿易の位置付け

(1) 輸出入バランス

2003年の日本の貿易額（通関ベース）は、円ベースでは、輸出が前年比4.7%増の54兆5,483億円、輸入が同5.1%増の44兆3,620億円で、貿易収支は、前年の9兆8,810億円から10兆1,863億円へと拡大し、2年連続で増加した。

これに対し、福岡県の貿易は、輸出が2兆7,218億円（前年比5.6%増）前年に引き続き増加となった。一方、輸入は1兆3,544億円（前年比1.4%増）となり、5年連続のプラスとなった。この結果、輸出入の貿易バランスは、出超基調で推移しており、前年比プラス10.2%の13,674億円と2年連続の拡大となった。



(2) 地域別輸出入動向

<日本>

2003年の輸出を国・地域別で見ると、前年に引き続き中国向け輸出が増加したことが牽引役となった。

アジア州での輸出は、前年比12.4%増、26兆8,380億円となった。その中でも、中国は前年の4兆9,797億円から33.2%増の6兆6,354億円で2位であり、シェアは12.2%へと拡大した。

一方、アメリカは前年比9.8%減の13兆4,121億円で減少した。ヨーロッパ州向けも、好調で、前年比11.1%増の9兆4,524億円となり、シェアは17.3%となった。

2003年の輸入では、アジア州からの輸入は、前年比9.4%増、25兆6,874億円となった。また、中国からの輸入は、前年の7兆7,277億円から13.0%増の8兆7,311億円で前年に引き続きトップであり、シェアが19.7%と前年から大幅に伸びた。また、前半に原油価格が高騰した影響で中東からの輸入が増加した。

一方、アメリカからは、5.7%減の6兆8,249億円と輸出と同様に減少している。ヨーロッパ州からの輸入は、前年比4.8%増の6兆9,425億円となった。

<福岡県>

これに対し、福岡県の地域別輸出額は、米国への輸出額は 5,947 億円の 141 億円の減、2.3%減となった。ヨーロッパ州への輸出は、輸出額が 3,738 億円と 565 億円増加し、17.8%の増となっている。

また、アジアへの輸出額も高くなっており、アジア州への輸出額は前年比 7.0%増の 1 兆 4,593 億円であり、輸出額全体に占めるアジア州の割合は 0.7%増の 53.6%である。輸出額としては 1,960 億円の増加となった。

国別では、中国、台湾、香港への輸出額が増加した。中国への輸出は、1,710 億円から 2,395 億円へと、前年比 40%増と大幅に拡大し、2002 年には、4 位の輸出相手国であったが、2003 年には、3 位へと上昇した。一方、アメリカ、大韓民国への輸出額は減少している。

一方、輸入に関しても、日本の輸入額と同様に増加している。アジア州からの輸入割合が大きく、全体の 72.5%を占め、昨年より 275 億円増加の 9,816 億円となっている。

しかし、ヨーロッパ州からは 1,103 億円から 1,029 億円、アメリカ州からは 1,983 億円から 1,893 億円へと輸入額は減少している。

国別では、中国、タイ、インドネシアからの輸入額が増加しており、特に、中国からの輸入は、前年より 301 億円の 8.4%増加の 3,856 億円となっている。一方、大韓民国、アメリカからの輸入額は、減少している。

(3) 品目別輸出入動向

<日本>

2003 年の品目別輸出の特徴をみると、デジカメをはじめとする I T 関連製品や建設用の資本財に対する外需が伸びた。資本財の中では、一般機械が、前年比 4.0%増の 11 兆 247 億円、電気機械が前年比 7.8%増の 12 兆 8,571 億円へと増加した。

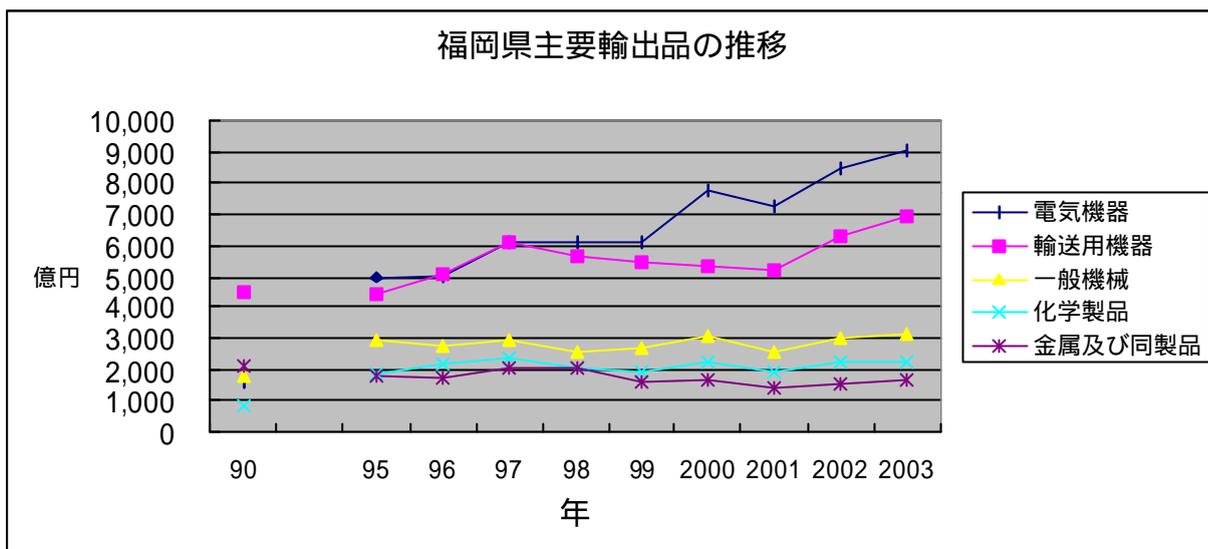
商品別に見ると、輸出は全般的に好調な品目が多かったが、中でも電気機器や一般機械に含まれる一部の品目が大きく伸びた。前者は特にデジタルカメラや DVD プレーヤーを含む映像機器・V T R 類の増加が目立った。世界的にデジカメの需要が高まる中で日本からの輸出が急激に拡大した。

2003 年の輸入は、原油高が押し上げ要因として影響し、石油関連製品の輸入額が大幅にかさ上げされたが、財別でみると工業用燃料の伸びがやはり際立っている。総輸入の 3 割弱を占める資本財では、一般機械、電気機械、輸送機械がすべて堅調な伸びを示し、輸出と同様に牽引役となった。

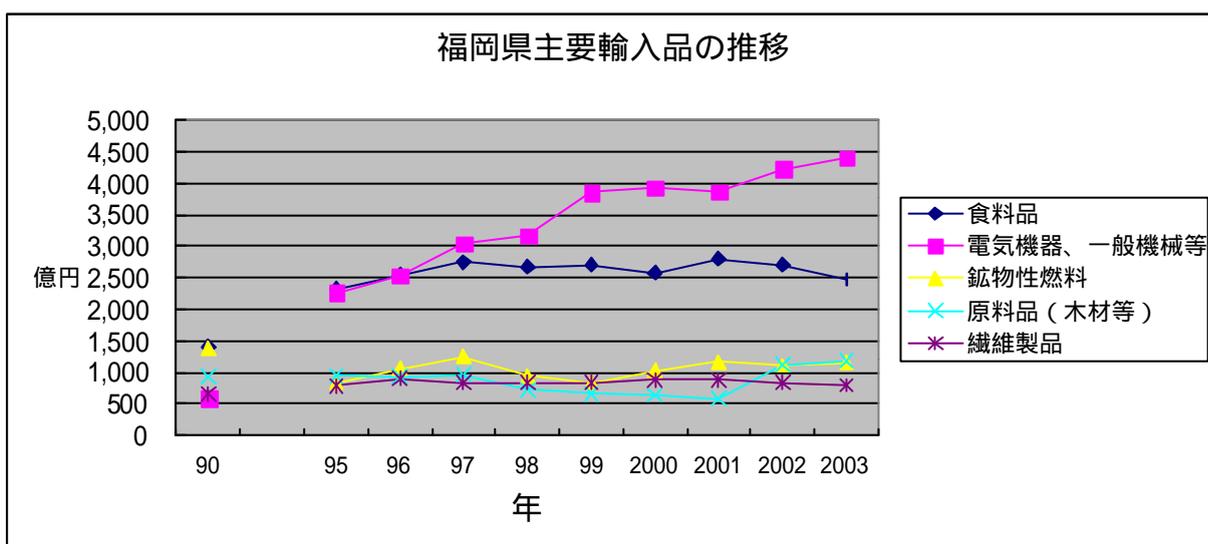
商品別輸入を見ると、幅広い品目で輸入額が増加した。鉱物性燃料は、特に年初からの原油価格の高騰が影響して原油及び粗油と石油及び銅製品の輸入額を押し上げる格好となり、前年比 14.4%増の 9 兆 3,499 億円へと増加した。

<福岡県>

これに対し、福岡県の主要品目別輸出額を見ると、電気機器、輸送用機器が昨年に引き続き、増加している。1990 年代半ばと比較すると、電気機器は激しい動きをみせており、増加傾向にある。その他、一般機械、化学製品、金属及び同製品についても、増加している。



品目別輸入額に関しては、電気機器・一般機械が2年連続で増加している。その他目立ったところでは、食料品が減少している。鉱物性燃料、原料品では、微増している。



* 貿易統計データについては、「財務省ホームページ」、「平成15年(2003)外国貿易年表」(日本関税協会門司支部編)、「平成15年(2003)外国貿易年表」(長崎税関編)、「九州経済圏各県別の貿易(確定値)平成15年分」(門司税関)を基に福岡県にて編集

* 日本の動向に関する記述については「日本の貿易動向 2003年」(日本貿易振興機構編)より引用、参照